

学力向上に効果のある取組事例

⑪ 小学校教科担任制の推進

取組の具体

○朝日小学校教科担任制の令和6年度の概要

- ・4年生3クラス 理科(専科教員)
外国語活動・図工・書写(学級担任による教科担当)
- ・5年生4クラス 算数(教科担任制推進教員)
国語・理科・社会・図工・外国語・家庭科・音楽
(学級担任による教科担当)
- ・6年生3クラス 理科(専科教員)
国語・算数・社会・図工・総合的な学習の時間・外国語・音楽
(学級担任による教科担当)

※5・6年生を中心に教科担任制を導入し、5年が経過をしている。実施教科は人員配置等によって年度ごと変更。

○教科担任制によるメリット

①児童理解の広がり

これまで学級中心の学年集団だったものが、どのクラスにも各担任が授業に入るため、複数の教員で児童の学力傾向や日々の変化を把握できる。

②教材研究の深化

同じ内容の授業を複数回行うため、教員の教材に対する理解が深まり、授業改善が短い期間でできる。

○教科担任制推進にあたっての校内での工夫

①教職員間の連絡体制

授業中の様子や配慮を必要とする子どもの情報交換を密に行う。週に1回、学年会を開き、授業進度や学習の様子などの共通理解を図る。

②学習・生活ルールの共通化

年度当初に「よくわかる！朝日小学校の約束」を家庭に配布し、持ち物や家庭学習等について共通化を図る。

③校内研究の推進

互見授業を通して、授業展開の共通化やつきたい力の意識を高めていく。



(英語専科教員による授業)